

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-730	A-136	22-025 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名（原題／訳）</b>		
Risk of Hypertension and Type 2 Diabetes in Relation to Changes in Alcohol Consumption: A Nationwide Cohort Study アルコール摂取量変化に関連した高血圧、2型糖尿病のリスク：全国規模のコホート研究		
<b>執筆者</b>		
Choi JW, Han E, Kim TH.		
<b>掲載誌</b>		
Int J Environ Res Public Health. 2022 Apr 19;19(9):4941. doi: 10.3390/ijerph19094941.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
飲酒量の変化、大量飲酒の頻度、高血圧、2型糖尿病、韓国成人		35564335
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b>経年的な飲酒量と高血圧や2型糖尿病との関連は先行研究が少なく、飲酒頻度と量の変化を検討した研究はないため、飲酒量の変化と両疾患リスクとの関連を検討した。</p> <p><b>方法：</b>韓国における National Health Insurance Service National Sample Cohort (NHIS-NSC)を用いた。高血圧は収縮期/拡張期血圧 140/ 90mmHg 以上、または降圧剤処方歴者、2型糖尿病は ICD-10 コード：E11-E14、空腹時血糖値 126mg/dL 以上、経口血糖降下剤またはインスリン処方歴者とした。2005～8年の NHIS-NSC データ 1,041,441 人のうち、2006～8年に 20 歳以上の非高血圧および/または非糖尿病患者 96,129 人を解析対象とし、2015 年末まで追跡調査を実施した。飲酒はベースラインと追跡調査時に自己記式質問票を用いて頻度と量进行评估した。焼酎 1 週間あたりの飲酒頻度および 1 回あたりの平均飲酒量により、「非飲酒」、「時々適量飲酒（5 回/週かつ 4 杯/回未満）」、「頻繁な適量飲酒（5 回/週以上かつ 4 杯/回未満）」、「時々大量飲酒（5 回/週未満かつ 4 杯/回以上）」、「頻繁な大量飲酒（5 回/週かつ 4 杯/回以上）」に分類した。Cox 比例ハザードモデルを用い、高血圧、2型糖尿病のハザード比（HR）および 95%信頼区間（CI）を算出した。</p> <p><b>結果：</b>高血圧は平均追跡 6.2±2.6 年で 29,043 人、2型糖尿病は平均追跡 6.9±1.9 年で 18,784 人の発症が確認された。時々または頻繁な大量飲酒は、非飲酒と比較して、高血圧（HR：1.16, 95%CI：1.11, 1.21, HR：1.32, 95% CI：1.16, 1.51）および 2型糖尿病（HR：1.14, 95% CI：1.09, 1.20, HR：1.36, 95% CI：1.17, 1.58）上昇と関連していた。大量飲酒者においては、飲酒頻度の減少も増加も、高血圧（HR：1.29, 95% CI：1.11, 1.49, HR：1.30, 95% CI：1.13, 1.49）および 2型糖尿病（HR：1.26, 95% CI：1.06, 1.49, HR：1.56, 95% CI：1.34, 1.81）と関連があった。</p> <p><b>結論：</b>大量飲酒を繰り返すことは、週当たりの飲酒頻度を減らしても、高血圧および 2型糖尿病のリスク上昇と関連することが示唆された。</p>		